

- 問1 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
- 問2 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 問3 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問4 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？
- 問5 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問6 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？
- 問7 天皇を中心として、国司や郡司などの仕組みを整えて全国を支配した国家体制を何という？
- 問8 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問9 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？
- 問10 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問11 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 問12 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 問13 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
- 問14 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問15 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？
- 問16 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問17 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問18 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問19 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？
- 問20 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
- 問21 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？
- 問22 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
- 問23 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問2	答え 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問3	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問4	答え 鑑真	鑑真は唐で名高い高僧でしたが、日本の僧侶からの要請に応え、5回もの失敗や失明という苦難を乗り越えて6回目にようやく来日を果たしました。奈良の東大寺に戒壇を築き、多くの僧に戒律を授けました。また、その後には唐招提寺を開いています。
問5	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問6	答え 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問7	答え 律令国家	律令国家とは、法律（律と令）に基づき、官僚組織を整えて全国を支配する体制です。中央には太政官などの行政機関、地方には国・郡・里を設置し、中央から役人を派遣しました。この仕組みにより、戸籍を作成して人々に税を課し、中央政府が全国の土地と人民を把握する支配構造を実現しました。
問8	答え 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問9	答え 天平文化	天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。
問10	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問11	答え 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問12	答え 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開かれました。
問13	答え 東国	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。しかし、九州の防衛任務は3年という長期に及ぶ厳しいもので、遠く離れた地への赴任は農民たちに大きな負担を強いました。家族と別れ、命の保証もない任務に向かう彼らの苦悩は深く、多くの切ない歌が詠まれました。
問14	答え 天平文化	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。
問15	答え 律令制	律令制は、中央に省を置く官僚機構や、地方への国司の派遣、戸籍をもとにした班田収授法などの制度によって構成されています。これにより、国家による土地と人民の直接的な統治が実現しました。
問16	答え 元明天皇	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。また、国家の歴史や伝承をまとめるために、太安万侶らに『古事記』の編纂を命じ、各地の地理や産物を記録する『風土記』の作成を命じました。国力を充実させ、安定した統治を目指した人物です。
問17	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問18	答え 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問19	答え 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。
問20	答え 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしていました。
問21	答え 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。
問22	答え 木簡	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。
問23	答え 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生生きと表現されています。